スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

香川県 宇多津町

自 治 体 名 ： 香川県 宇多津町
担 当 課 名 ： 教育委員会 生涯学習課
電 話 番 号 ： 0877-49-8007

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

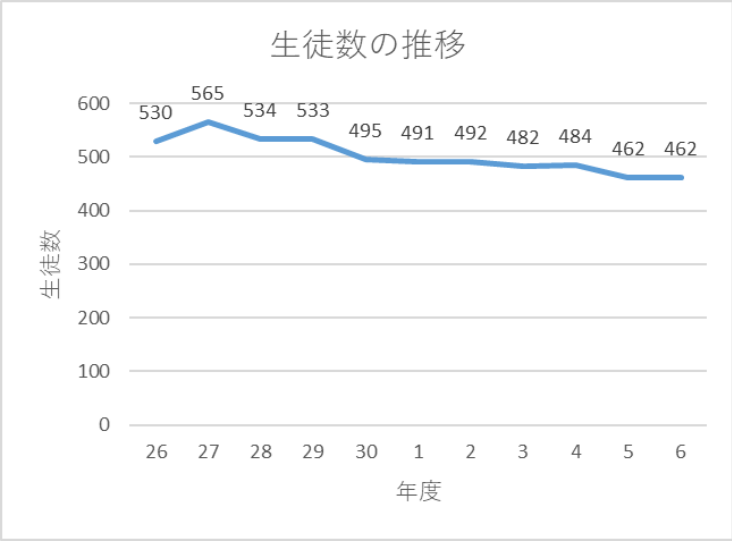
面積	8.10 ㎢
人口	18,357 人 （R6.5.1現在）
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	462 人
部活動数	15 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	令和7年度策定予定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本町では、公立中学校が1校で、生徒数は緩やかに減少している。生徒数に対する部活動数（運動部15・文化部5）が多く、競技・指導経験のない種目の顧問もいる。部活動加入率は約9割で、そのうち運動部は6割であり、個人競技の希望が多い状況である。そのため、団体競技ではチーム編成ができず、休部や他市との合同部活動となっている種目も増えている。

令和5年度からの継続（柔道部・剣道部、ダンス部）に加え、今年度は合同部活動以外の６運動部について休日の地域移行を目指したが、現状は柔道部、剣道部、ダンス部、サッカー部のみの実施となっている。

移行の障壁となっている大きな課題の一つに指導者がみつからないということがある。業務を委託している業者、教育委員会がともに連携しながら模索したり、県の人材バンクを活用したりして随時人材募集を進めているところである。

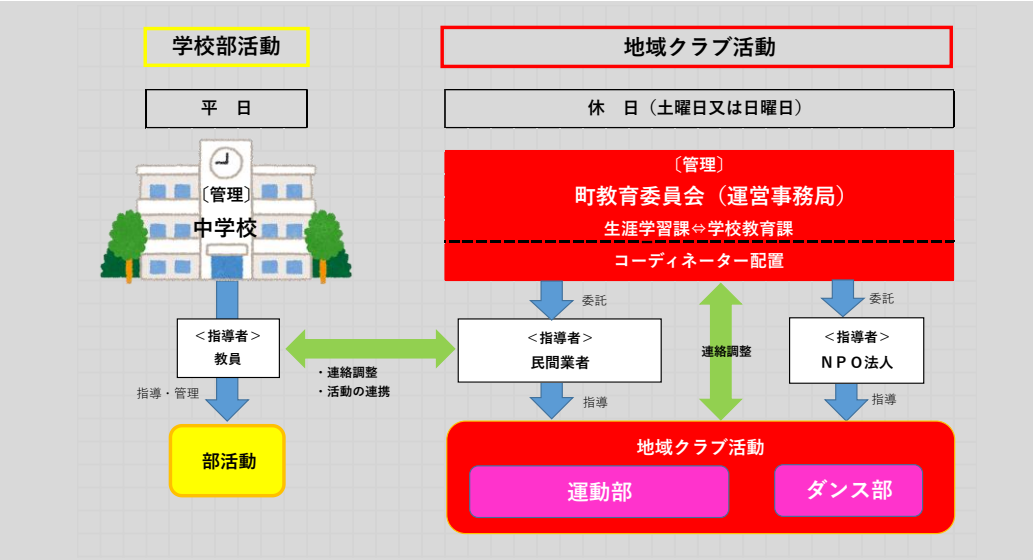


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・コーディネーターを配置する。
・中学校、民間事業者、指導者との連絡調整や連携を図る。
・関係者会や協議会を開催して、情報共有や課題の検討を行う。

◉首長部局

・予算措置
・共通認識を持ち、事業実施に向けてあらゆる分野で連携を図る。

年間の事業スケジュール

令和6年4月～　昨年度から検討してきた移行スケジュールに沿って課内で協議を進める
柔道部、剣道部、ダンス部については昨年度に継続して事業を進める

令和6年6月　第1回推進協議会

令和6年7月　民間業者と委託契約締結
町内中学校・小学校の教職員にアンケート実施

令和6年9月　中学校教職員対象に説明会実施

令和6年9月～10月　部活動顧問と町教委のヒアリング実施
地元サッカークラブへ協力依頼し、地域移行のサッカー部受け皿団体として検討開始

令和6年10月　中学校校長・ 町教委・サッカー部顧問とで複数回協議
サッカー部顧問と委託業者打合せ

第2回推進協議会

令和6年11月　中学校保護者に向け、地域移行について説明文書配布
サッカー部保護者説明会
スポーツ安全保険加入

令和6年12月　サッカー部地域クラブ活動開始

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	4クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（3部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1クラブ
全体の指導者数	22人	全体の運営スタッフ数	4人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	平均参加者	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
宇多津中学校柔道部	スポーツ協会	柔道	月 1～2回／週 1 回	午前3時間	12人	令和6年4月～令和7年2月	デュアルスポーツセンター柔道場	4人	1人	0円	部活動
宇多津中学校剣道部	スポーツ協会	剣道	月3～4 回／週 1 回	午前3時間	5人	令和6年4月～令和7年2月	デュアルスポーツセンター剣道場	10人	1人	0円	部活動
うたダン	NPO法人	ダンス	月 2～3 回／週 1 回	午前1.5時間	18人	令和6年4月～令和7年2月	保健センター	2人	1人	0円	–
宇多津中学校サッカー部	民間事業者	サッカー	月 1～2回／週 1 回	午前3時間	19人	令和6年12月～令和7年2月	宇多津中学校グランド	6人	1人	0円	部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 柔道部・剣道部・・・中体連の試合、スポーツ協会主催の試合、その他、練習試合に参加
- ダンス部・・・大学祭、町内イベント、指導者のつながりのあるイベント等に参加

2.実証内容と成果

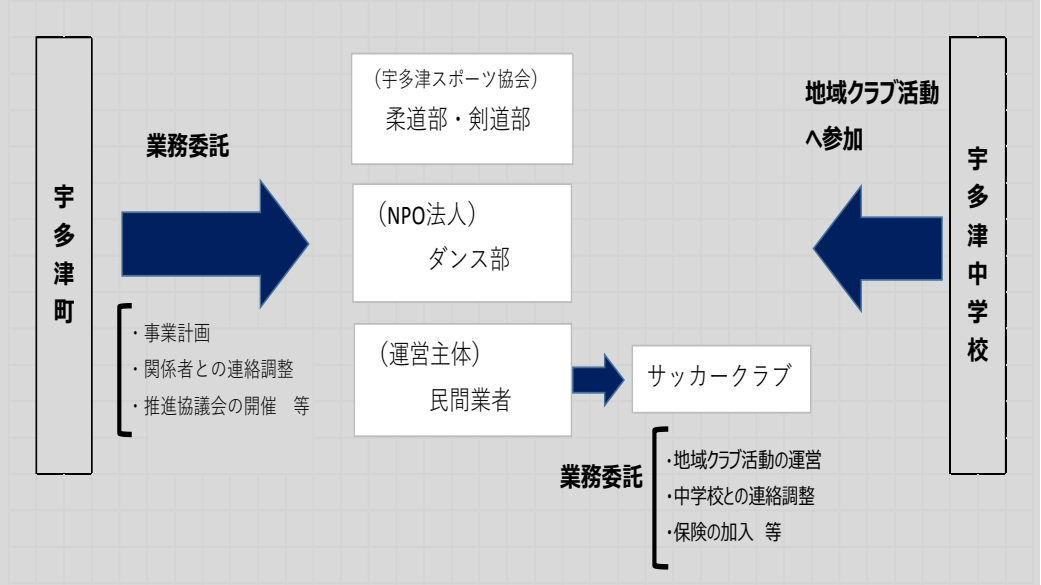
スポーツ庁

主な取組例

●宇多津中学校柔道部･剣道部　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	柔道 剣道
運営団体名	宇多津スポーツ協会
期間と日数	柔道：R6年４月 ～ R7年2月 月１～２回程度 剣道：R6年４月 ～ R7年2月 月３～４回程度
指導者の主な属性	スポーツ協会
活動場所	デュアル･スポーツセンター
主な移動手段	自転車･徒歩
１人あたりの参加会費等（年額）	柔道：0円 剣道：0円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

【柔道】

●スポーツ協会柔道部部長　１名

役割：活動における管理者として、指導者、学校、保護者との連携を行う。

●指導者　３名　　役割：参加者への技術指導を行う。

【剣道】

●スポーツ協会柔道部部長　１名

役割：活動における管理者として、指導者、学校、保護者との連携を行う。

●指導者　９名　　役割：参加者への技術指導を行う。

2.実証内容と成果

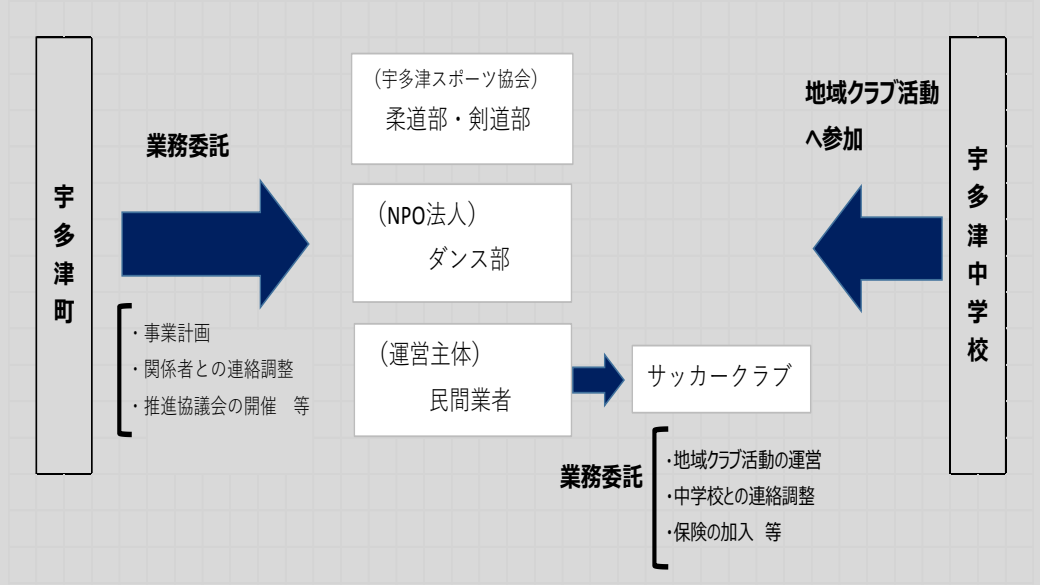
スポーツ庁

主な取組例

●うたダン　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ダンス
運営団体名	特定非営利活動法人L'espace labo
期間と日数	R6年４月 ～ R7年2月 週１回程度
指導者の主な属性	大学教員
活動場所	町保健センター
主な移動手段	自転車・徒歩・保護者による送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	0円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●主任指導者　１名

役割：活動における管理者として、ダンス指導、学校、保護者との連携を行う。
各種イベント等参加手続き、活動計画作成。引率など

●副指導者　１名

役割：主任指導者の補助を行う。

2.実証内容と成果

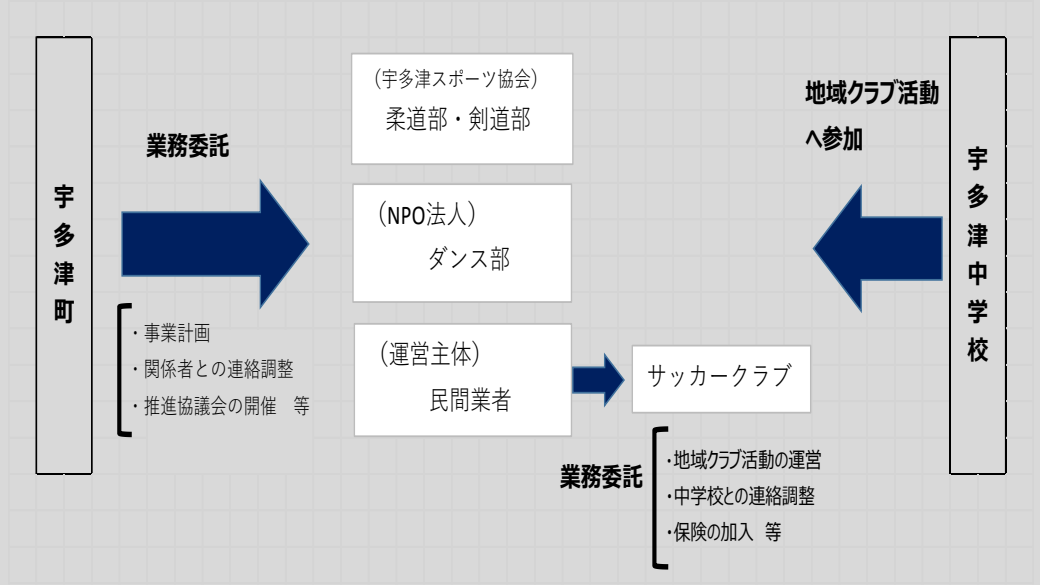
スポーツ庁

主な取組例

●宇多津中学校サッカー部　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー
運営団体名	スポーツデータバンク株式会社
期間と日数	R6年12月 ～ R7年2月 月１～２回程度
指導者の主な属性	民間事業者
活動場所	中学校グランド
主な移動手段	自転車・徒歩
１人あたりの参加会費等（年額）	0円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者　１名

役割：活動における管理者として、指導者、学校、保護者との連携を行う。

●主任指導者　１名

役割：開催日程の決定、参加者への周知、技術指導を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

コーディネーターを1名配置し、関係者や町との連絡調整を行った。

取組の成果

町でコーディネーターを配置したことにより、関係者間の連絡調整・推進協議会や打合せ会の運営等を円滑に行うことができた。

推進協議会では、進捗状況の報告やグループワークを行い、共通認識を持つとともに、部活動の地域移行について協議を深め、目指すべき方向性の確認を行った。



コーディネーターの具体的な動きの実績

中学校、運営主体の民間事業者、指導者と打合せ会議を開催する等関係者との連絡調整を行った。

活動の様子を巡回して、課題等のヒアリングを行った。

推進協議会を開催して、情報共有や課題の検討を行った。

今後の課題と対応方針

今後、地域クラブ数が増加した時や持続可能な事業実施のために、コーディネート業務を担う人材の発掘や資質向上を図れるような方策の検討を行う。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

サッカー部の指導者は、町が業務委託している民間業者から派遣された指導者であることから、必ず研修を受けることとし、能力の向上に努めた。

スポーツ活動の指導者としての基礎知識及び生徒への指導のためのノウハウを取得することを目的とした、eラーニング研修を1回3時間程度行った。

指導者研修の参加実績

・開催月：　12月
・開催回数：1 回
・参加人数：3 人

町が委託している民間業者より指定された研修を受講してもらう。

受講者の声

指導者としての行動や言動について、改めて自分自身を振り返ったり、考えたりする機会となり、非常に有効であった。

今後の課題と対応方針

サッカー部について、指導者は、地元サッカークラブのコーチとしてサッカー指導に従事しているが、中学校サッカー部の部活動を休日に引き継ぐ形での活動の指導は初めてである。また、月謝をいただいて指導する民間のサッカークラブとはやや内容を異にする。これからも、定期的な研修を実施していきたい。

今後、町として各地域クラブに共通した研修体制の構築も要検討事項である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

10月、地元にあるサッカークラブに指導者の依頼をしたところ、スムーズに協力の意向を示してくれ、中学校サッカー部の休日の地域移行が実現した。

取組の成果

地域クラブの受け皿となったサッカークラブは、町内にあるクラブということで、地理的な事情等も問題なく、短期間にもかかわらず、中学校、地域移行委託業者、教育委員会等の関係者との協議も比較的スムーズに進んだ。

委託業者が活用しているアプリの運用もスムーズに進み、中学生や保護者の大きな混乱は見られなかった。





今後の課題と対応方針

○ 顧問と地域指導者の連携の内容や在り方について
○ アプリの活用ルールの共通理解と徹底について

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

1月5日、剣道部の顧問の呼びかけで『新年稽古会』が行われた。地域クラブ活動の指導者や卒業生、小学生等がデュアル・スポーツセンターに一堂に会し、稽古開きをした。その様子を見に、保護者も大勢駆けつけてくれた。


宇多津中学校 新年稽古会のご案内

活動の詳細

参加人数	約30人	指導者数	10 人
属性	中学校剣道部・修猷館道場・OB		
具体的な内容	新年稽古会（剣道稽古始）		
子供の声	● 年の初めに、気持ち新たになった。 ● 昇段めざしてがんばりたいと思った。 ● 普段の練習の日より、たくさんの人が集まって、にぎやかで楽しかった。		
関係者の声	● 様々な世代の人が集まって、練習できるのはよい。 ● 新しく、剣道を始めようと思う子どもが増えてほしい。 ● 子どもたちが地域の人とどのように関わりながら練習していることがわかって良かった。（保護者）		







2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実②





取組の成果

令和5年度、地域学校協働本部会議の際、委員長を務める地元大学教員に地域移行の話を投げかけたところ、意欲を示してくれた。

また、指導者が現代舞踊にも取り組んでおり、昨今の子どもたちのダンス人気と合わせて、既存の部活動ではない、ダンス部の立ち上げを積極的に進めてくれた。

令和5年8月に、ダンス部の体験会を開催し、9月から実施となった。指導者が勤務する大学の大学祭や宇多津町のイベントに参加し、令和6年度は、他市町のイベントにも出演し、活動の場を広げている。

参加者も中学校の生徒に限らず、小学生から高校生等幅広く柔軟に受け入れて現在は18名が参加している。新たな立ち上げではあるが、しだいに町内でダンス部が認知されてきている。

今後の課題と対応方針

子どもたちが身近な人（保護者・教員・友達等）に観てもらうことが、踊る喜びにもつながっている。様々な校種の子どもたちと交流することにより、小学校・中学校内での人間関係が緩和され、参加しやすい雰囲気となり部として一体感が生まれ、部の集まりが子どもたちの居場所となっている。大学生との交流も行われている。子どもたちも、ダンス部であるという認識も高くなり、積極的にダンスに対する意見や衣装の希望等も発言できるようになっていると同時に、イベントに出演することを目的に練習に励む姿がみられる。

イベントに参加することが、ダンス練習のモチベーションにもつながるが、ポンポンや衣装代、移動交通費が発生するという課題もある。できる限り子どもたちがのびのびと部に参加できるよう、困窮家庭への支援も踏まえた体制を構築していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

○ 休日のサッカーの地域クラブ活動では、中学校グランドで行う。必要な道具も中学校の備品が使えるよう、倉庫の鍵の合鍵を作製し、町と指導団体が借用書を取り交わして管理を徹底する。

○ 活動場所として、柔道部・剣道部のデュアル・スポーツセンター、ダンス部の保健センターの施設使用料は減免措置を行い無償とする。

取組の成果

○ 活動に必要な道具等の準備も参加者の負担なく行え、その分、十分な練習時間が確保できる。

○ 冷暖房が完備された施設で、快適な環境で子どもたちは活動できる。また、体調管理等の面でも地域クラブの指導者の心理的な負担を軽減できている。



今後の課題と対応方針

○ サッカーはグランドで行うが、緊急の際、AEDが屋外に設置されておらず、毎回地域クラブの指導者が持参している。AEDについては、今後、町で屋外に設置予定であるが、多種目の屋外競技の地域移行も考えた時、水分の補充の在り方等の検討も必要になってくる。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和4年度秋頃、本町において地域移行について教育委員会内で検討が始まり、当時の教育長よりスポーツ協会やスポーツ少年団に対し、協力を要請したところ、柔道部と剣道部が協力の意向を示してくれ、令和5年度からこの二つの部のモデル事業が始まった。

令和6年度は、他の部についても、まずは休日の地域移行を推進すべく教育委員会や中学校等と様々に協議を重ねてきた。その柱の一つに、地域移行業務を民間業者に委託して推進する町の予算措置も図られ、7月には契約を締結できたことは大きかった。

しかし大きな流れはできても、ステークホルダーの調整に時間も労力も要し、進捗が計画よりも遅れているのが実情である。

今年度、昨年度からの柔道部・剣道部・ダンス部の継続実施をする他、合同部活動以外の6種目の運動部の移行を目指したが、サッカー部の休日の移行のみ実現した。

●成果の評価

柔道・剣道については、町内で長い伝統をもつ団体が母体となって進めているので、活動の内容や指導者の質については、安心感があり信頼して任せることができている。

ダンス部は、子どもたちのニーズに応える形で、中学校の部活動にはなかったが、新たな地域クラブとして実施できている。

サッカー部については、地元のサッカークラブが受け皿となってくれたことは、大きな一歩である。しかし、サッカークラブも、中学校側も初めてのことで、体制としては休日の地域クラブという位置づけになっていることは認識しているものの、まだまだ課題は多い。

●今後に向けて

柔道部・剣道部、サッカー部は休日の地域移行をしたとはいえ、まだまだ顧問の教員に助けられている部分が大きい。顧問の教員も、連携面でどのように動いていいのかはっきり掴めない、不安が大きいのだと感じている。また、何より中学生が振り回されていないのは、顧問の存在に依る所が大きいと考える。

また、現在、休日の移行が進んでいる4クラブがそれぞれ属性が異なっており、事務処理等、システムの構築において足並みを揃えていくことも今後の検討課題と思われる。

何より、各地域クラブの指導者(人)の子どもを思う愛情・熱意・行動力等に支えられて実証事業を進められたことを今後も忘れないよう推進していきたい。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

実施なし

●参加者の声

小学生
町内だけでなく、いろんな町のイベントに参加できて楽しい。（ダンス部）

中学１年生
武道の作法なども教えてもらえてよかった。（剣道部）

中学１年生
技や技術を細かく丁寧に教えてくれてわかりやすかった。（柔道部）

中学生2年生
顧問の先生だけではわからない、サッカーの専門的な指導が受けられて、良かった。（サッカー部）

指導者
様々な世代の人が関わり合うことは良い経験になる。今後、武道の良さが子どもたちへ広がってほしいと願う。（柔道部・剣道部）

指導者
子どもたちが意欲的になり、色々な世代の子どもの交流が一層楽しさを生んでいる。保護者同士も連携し合い、練習等サポートしてくれてありがたい。（ダンス部）

指導者
中学校の地域クラブに参加できたことで、サッカー競技の裾野が広がったように感じられて嬉しい。（サッカー部）

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

アンケート結果・広報資料



【生徒への参加啓発チラシ】

中学校部活動の休日の地域移行について【第３回】

部活動の段階的な地域移行について検討するため、国より部活動地域移行推進協議会の設置が推奨されています。そこで、町では今年度、学校運営協議会において推進協議会としての役割も担っています。

第二回目の10月31日の協議会では、子どもたちにとってよりよい地域移行とするために、中学校部活動を含む宇多津町全体のスポーツ・文化芸術活動が将来的にどうなったらいいかなどについてグループ討議をしました。活発に話し合いがなされ、何を目指すか明確に、宇多津らしさを大切にしてほしい、子どもの気持ちを大事にしてあげたい等々、たくさんの意見が出て、地域の皆様の熱い温かい想いが広がっていきました。

中学校部活動の休日の地域移行について【第４回】

今年度の移行を目指している運動部６種目のうちの一つ、サッカー部が12月1日、地域クラブ活動一回目を行いました。

風もない晴天に恵まれ、少し冷たい清々しい空気の中、いつものグランドでいつものように準備をしながらも、少しの緊張感が漂っていました。練習の始めには、初対面である地域クラブ活動の指導者の話を神妙な面持ちで聞いていた子どもたちでしたが、ウォーミングアップから、徐々にボールを使っての実践練習になった頃には、心も体もほぐれ、なかまを呼び合う声や、笑い声が大きくなっていきました。

移行初日ということもあり、顧問の先生や保護者も温かく見守ってくださっていました。休日のサッカー部がより充実していきますよう、一層の応援をよろしくお願いします。



町広報誌【うたづ広報】掲載記事

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【柔道部】



【剣道部】



【ダンス部】



【サッカー部】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

協議会設置、検討開始

（6月6日）
第1回学校運営協議会を部活動地域移行推進協議会とも位置付け本町の現状を説明。
（10月31日）
第2回は、よりよい移行について、グループ討議を実施。

（4月）
柔道部・剣道部・ダンス部について、各部と教育委員会で継続実施することを確認。

地域移行業務を民間業者に委託

（7月）
業務委託業者決定。
年間スケジュール及び指導者募集開始。
中学校と小学校の全教職員を対象に部活動地域移行について、アンケートを実施。

教員ｱﾝｹｰﾄ、ﾋｱﾘﾝｸﾞの実施 地域クラブ受け皿決定

（9月11日）
中学校において教員説明会を行い、その後、部活動顧問も、顧問以外も全教員と教育委員会の担当者がヒアリングを実施。

（10月）
サッカー部の指導者決定。
委託業者と中学校と指導者派遣業者と複数回打合せ。

生徒、保護者へ周知

（11月）
中学校の保護者向けに、地域移行に関するリーフレット配布。
（11月10日）
サッカー部保護者説明会を実施。

（12月）
サッカー部地域クラブ活動開始。

令和7年

地域クラブ活動の開始

令和8～10年

地域クラブ活動の拡大検討

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	年度	令和５年度（２０２３）	令和６年度（２０２４）	令和７年度（２０２５）	令和８年度（２０２６）
事業内容	テーマ	調査・研究（実証事業）	調査・研究（実証事業）	休日の地域移行	地域移行本格実施
		○コーディネーター配置 →			
		○柔道部・剣道部について実証事業実施 →			
			○他市町と合同部活動以外の運動部・吹奏楽部について実証事業実施 →		
		○部活動方針改定	○教師の兼職兼業手続き		
		○規程・基準等の検討・整備			
		○学校部活動以外の地域クラブ活動の実施（ダンス部） →			
		○地域移行の拡大にむけて関係団体との連携協議 →			
			○受益者負担及び生活困窮者世帯への補助制度検討 →		
			○部活動地域移行推進協議会設置（学校運営協議会内） →		
				○推進計画策定 →	